

令和元年度 事業計画

I 基本方針

我が国においては、緩やかな景気回復が続く中、雇用情勢を見ると有効求人倍率が約2倍率で推移しており、また人口減少や少子高齢化の進行に伴い労働力人口が減少しております。

こうした中で、地域における高齢者の活動拠点となるシルバー人材センターは、生涯現役社会の実現に向けて生き生きと働くとともに、高齢者が地域や経済を支える人材として、様々な社会参加の促進を図ることが重要であります。

昨年度に引き続き、当センターの組織及び財政基盤の強化を図るため、人手不足とされる分野における「就業機会の拡大」、並びに「会員の増強」を重点事業として取り組みます。また、就業先では「安全で事故の無いこと」が最も重要なことです。

本年度から始まる第二次中期計画の目標に沿って、会員・役職員が一丸となって、高齢者の能力を活かし、地域社会の期待に応えられるよう事業推進に取り組んでまいります。

II 事業実施計画

1 会員の増強及び普及啓発事業

組織の維持と事業を推進するためには、会員の確保、特に女性会員の増強が重要となります。そこで、センター事業や新規入会案内等をホームページや町広報紙等に掲載するとともに、会員による口コミや出張説明会の開催など募集方法の工夫、及び会員拡大推進委員を設置し会員拡大を積極的に進め、シルバー人材センターの基本理念及び事業内容等を説明して新規会員の確保に努めます。

(目標：年度末会員数 259 人)

2 地域社会との信頼関係の確立

地域社会との連携を拡充するため、会員によるボランティア活動を実施します。

また、7年目を迎える夏休み宿題教室も引き続き開催します。さらに、シルバー人材センターへの理解と支援を深めるため、阿久比町立図書館での「会員作品展」も引き続き開催するとともに、知多ブロックの行事や各種イベントへの参加に努めます。

3 知識・技能の取得

会員の知識・技能の向上を図るため、基礎的な研修及び技能講習会などを実施し、後継者の育成に努めます。

また、新規就業会員ができるだけ早く一人前になるのを支援するため、就業先ごとに懇談会を開催して就業マニュアルの内容の充実を図ります。

4 就業機会の開拓と確保提供

シルバー人材センター事業の自立促進のためには、就業機会の拡大と就業形態の多様化が必要です。

地域社会の就業ニーズ等の把握を適切に行うとともに、阿久比町の福祉計画に対応する担い手となれるよう、就業機会の調査・検討してまいります。また、地方自治体、企業及び一般家庭に対する就業機会の掘り起こしを行うため、就業機会開拓推進委員を配置し、年齢に相応しい就業機会の確保・拡大を図ります。

(目標：就業率 90%以上)

5 安全就業対策

安全就業を推進するため、「安全第一」・「事故ゼロ」の取り組みとして安全基準遵守の徹底と就業先の安全パトロールを適宜実施し、会員への的確な安全指導を行うとともに、安全委員会では「事故を起した場合の取り扱い基準」を踏まえ事故報告書の提出や委員会への出席と説明などによる事故防止対策、及び夏場の就業制限を引き続き実施します。

(目標：事故件数 3件以内)

6 適正就業対策

適正就業を推進するためには、会員の年齢や能力、体調・特性などを考慮して就業内容や作業形態等を見直し、会員の負担軽減を検討してまいります。また、就業希望にマッチングするよう、就業機会の公平化と未就業会員の解消に努めます。

7 財政基盤

財政基盤の安定を図るため、経費の節減と効率的な事業運営を行うとともに、事務費については、他市町のシルバー人材センターの動向を注視し検討していきます。なお、本年10月にも引上げを予定している消費税率の動向も注視する必要があります。

また、新規財源の確保についても検討を行い、受注バランスを考慮して収支相償に努めます。

8 組織運営

総会は、年1回会員の皆さんに事業の結果を報告し、今後の方向を決めていく機会です。できる限りたくさんの会員に出席してもらえるよう、総会の重要性のアピールと、日程等の事前周知を図り出席率向上に努めます。

(目標：本人出席率50%以上、委任状を含めた出席率90%以上)

事務局体制としては、職員間の意志疎通・連携をさらに深め業務の充実と効率化を図り、事務局の総合力を高めるため職員研修等を行い、体制強化を図ります。

また、会員と事務局の意志疎通を図るため、今年度も引き続き就業先懇談会を行い、新規就業者向けマニュアルの充実を図ります。